

株式会社かづのパワー 参考資料

鹿角市 産業活力課
商工・新エネ班

設立趣旨

鹿角市は、地熱や水力をはじめとする再生可能エネルギーに恵まれた地域であり、電力自給率は380%を超える全国でも稀有な「エネルギー永続地帯」として評価されています。

しかし、東日本大震災の折、多くの発電所があるにも関わらず他地域に比べ停電からの復旧が遅れたほか、電力料金の多くは地域外に流出しているなど、鹿角市民は豊富な再生可能エネルギーの恩恵を享受しきれていないと感じています。

豊富な再生可能エネルギーによる電力を地域内に供給し、電力料金およびその利益を地域内で循環させる、電力の地産地消を実現し、電力料金等の域内循環により地域の活性化を図り、人口減少社会においても持続可能なまちを目指すことで、このまちに住んでいることを誇りに思う市民の増加が期待されます。

電力の地産地消による地域活性化を実現するため、地域内の電力を地域内に供給する地域電力小売会社「株式会社かづのパワー」を設立したいと存じますので、特段のご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

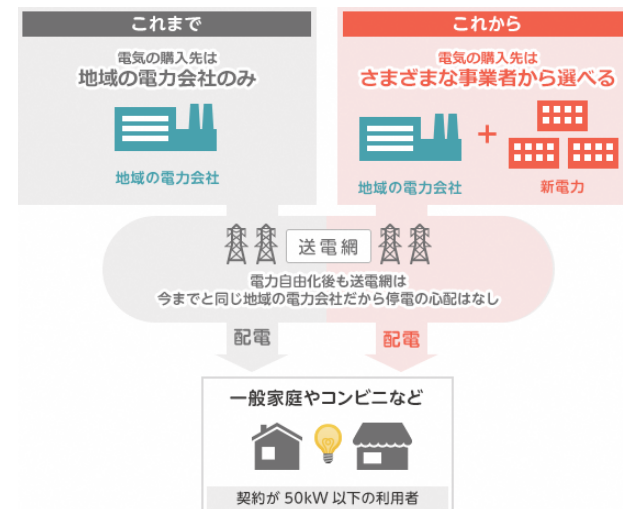
事業の背景

電力の小売全面自由化

電気については、今まで東北電力など各地域の電力会社（以下、旧一般電気事業者）だけが販売しており、家庭では、電気をどの会社から買うか選ぶことはできませんでした。

電気事業法の改正により、平成28年4月1日から、電気小売業への参入が全面自由化され、すべての消費者が電力会社や料金メニューを選ぶことができるようになりました。

電力の小売全面自由化により多くの事業者による競争が生まれ、多様な料金メニューやサービス、再エネによる環境価値や電気の地産地消など、電力の多様な価値を消費者は得ることができるようになりました。



鹿角の電源を活用し地域電力小売会社を

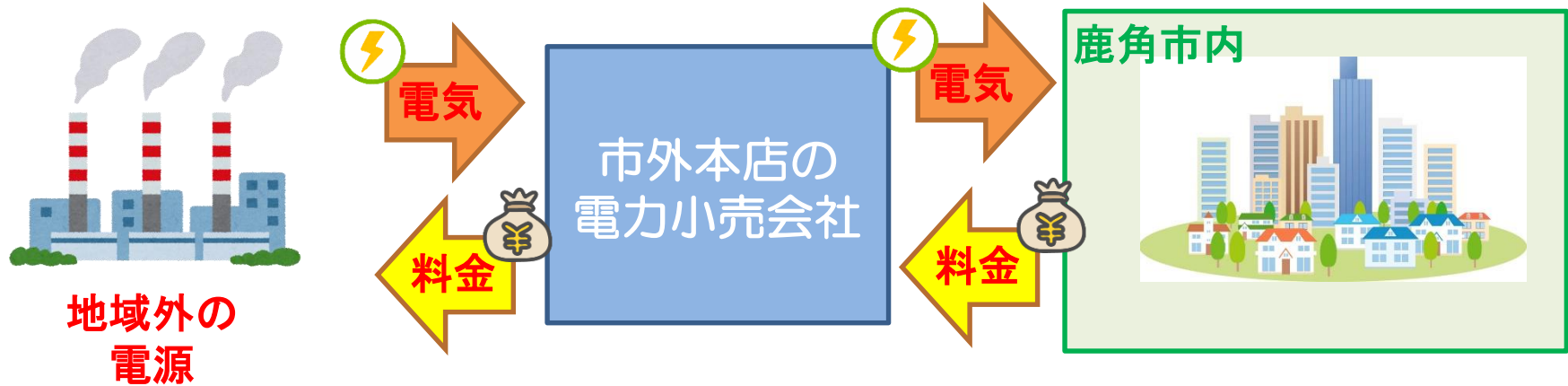
鹿角市には地熱、水力、風力などの再生可能エネルギーが多数存在します。

この豊富な地域電源を活用した電力小売会社を地域内に作ることで、地域の電気を地域内で消費する、「電力の地産地消」が図られます。

電力の地産地消により、電力料金が域内で循環するとともに、電力小売会社が得た利益は地域活性化の原資とすることができることから、地域電力小売会社を設立したいと考えます。

電力の地産地消

× 電気料金が市外に流出している



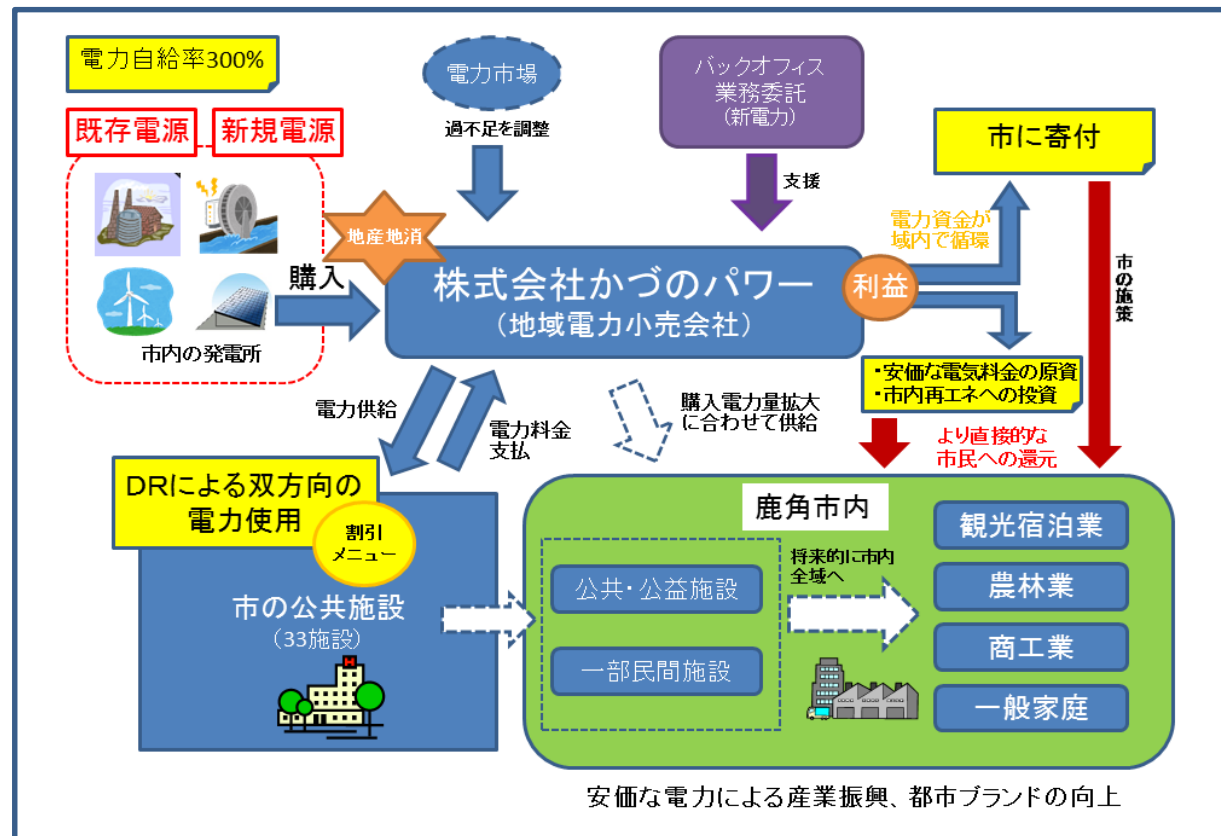
○ 電気料金が鹿角市内に留まる



地域新電力構想の概要 (かづのパワーのモデル)

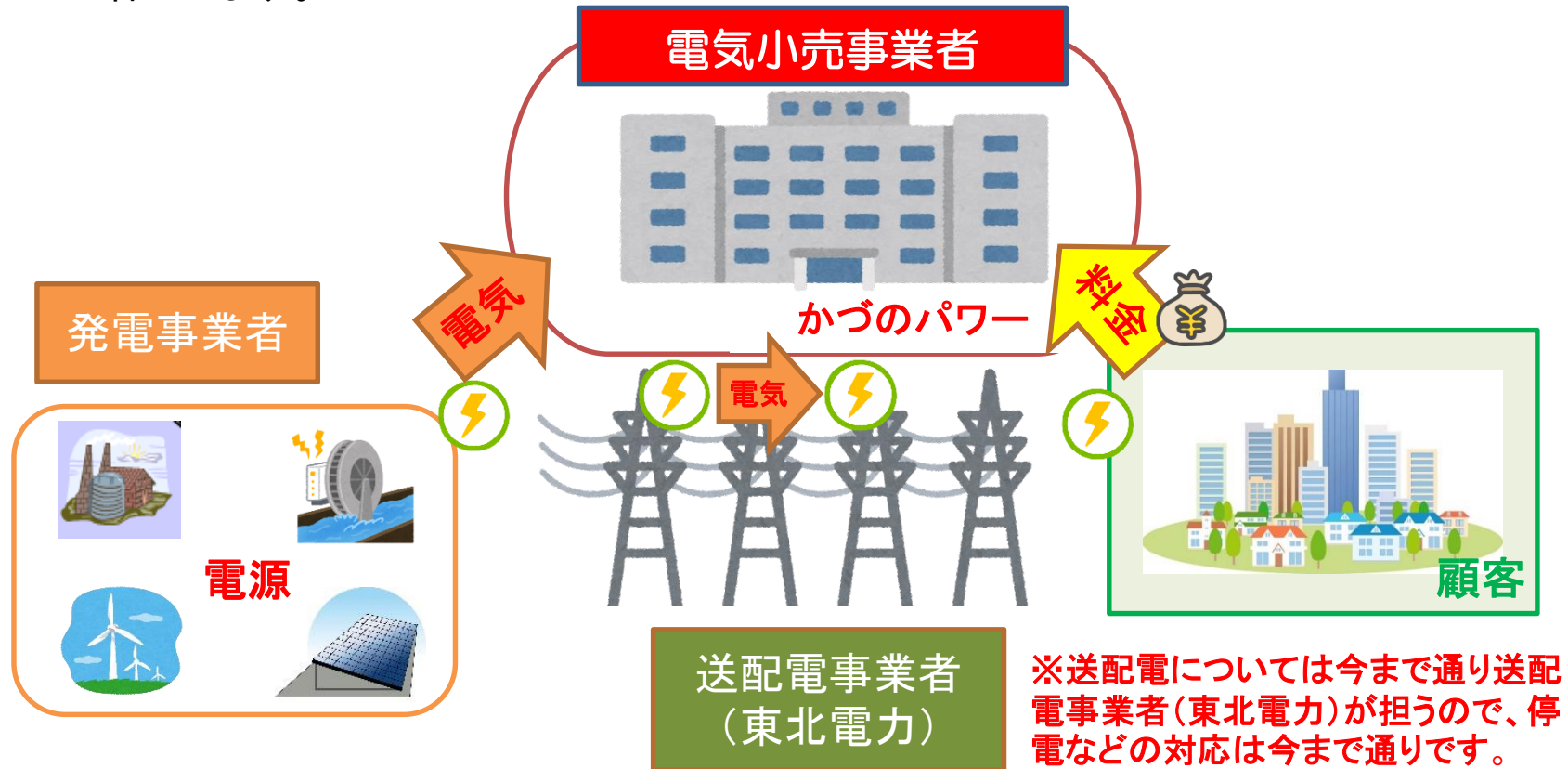
自給率300%を超える本市の恵まれた再エネ電力資源を有効活用し、地域内で産出された電力を地域内で消費するとともに、電力消費に係るキャッシュフローを域内に取り込むことで、地域の活性化に結び付けます。

収益は配分せず、市への寄附や再エネへの投資、安価な電力供給など、さまざまな手法で電力収益の還元を図ります。



電力小売事業の概要

発電所から電気を皆さんに送るまでには、発電した電気を販売する発電事業者、電気を仕入れ顧客に販売する電気小売事業者、送電線を管理し電気を顧客に届ける送配電事業者がいます。

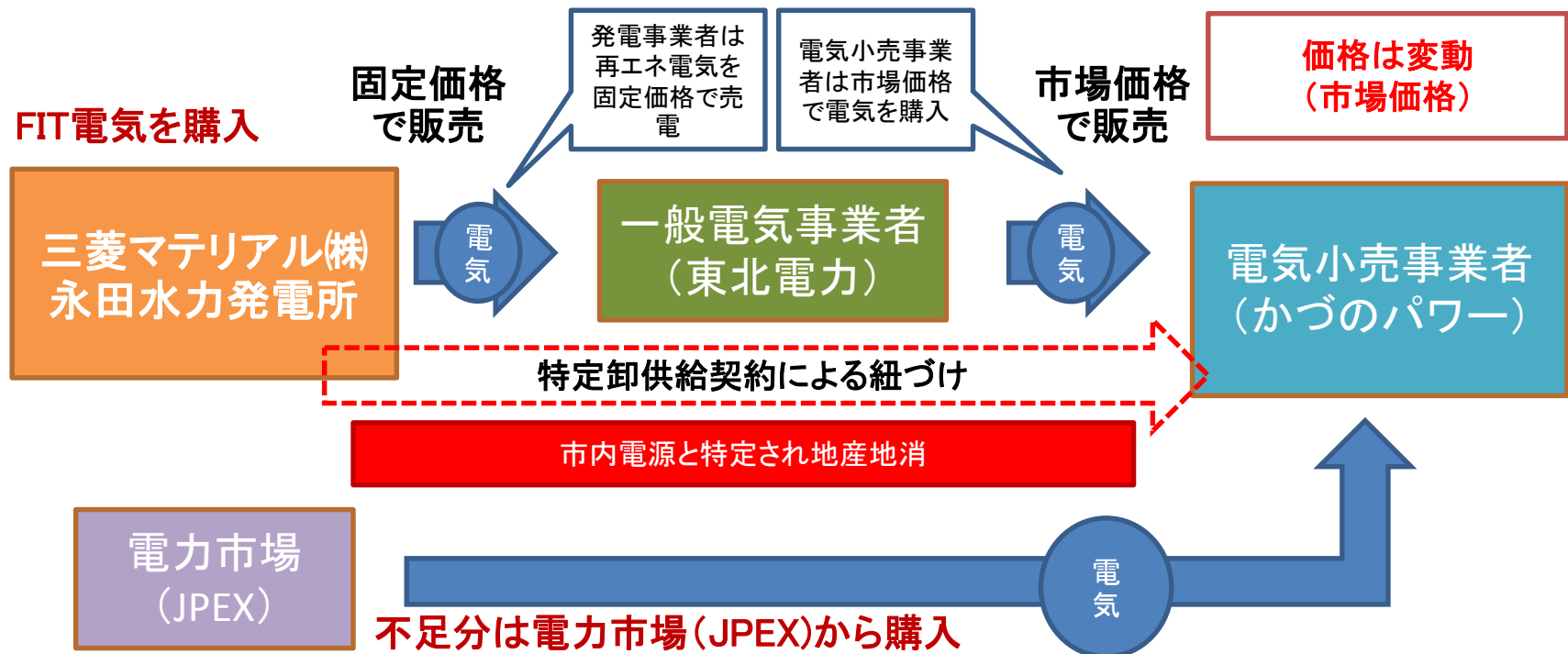


かづのパワーは、電気を仕入れ販売する電気小売会社

電気の購入方法

特定卸供給契約により、永田水力発電所の電気を特定して購入します

FIT電気は一般送配電事業者である東北電力が買い取るようになっており、かづのパワーが直接購入することはできませんが、「再生可能エネルギー特定卸供給契約」を東北電力と結び、また発電事業者から協力を得られることによって、かづのパワーは東北電力から永田水力発電所の電気を特定して購入することができ、地域の電気を顧客に供給することができます。



かづのパワー 会社概要

会社名	株式会社かづのパワー
本社	秋田県鹿角市花輪字柳田36番地
事業目的	電力の地産地消による地域活性化
事業内容	電力小売事業
代表者	竹田孝雄
資本金	990万円
出資構成	鹿角市、竹田孝雄、(株)秋田銀行、(株)北都銀行、秋田県信用組合、(株)鹿角エナジー、(株)柳澤鉄工所、ジョイタム(株)、(有)森谷製作所、(株)青山精工、(株)キムラ鋼板、(有)大成商事、(有)リンテック、シー・アンド・シー(株)、(有)プレ・テック、(株)浅利佐助商店、鹿角エヌ・シー・エル(株)、(株)サッシュュ、十和田精密工業(株)、(株)サンテック
設立(予定)	令和元年7月17日
供給開始(予定)	令和2年4月1日
従業員数	1人

かつのパワーの地域への効果

・購入することで地域の活性化につながる

かつのパワーは利益を配分せず、電力資金の域内循環による地域活性化を目的とした会社です。利益は市に寄付したり、新たな再エネ設備の資金にしたり、安価な電気の供給の原資にしたりするなど、さまざまな形で地域に還元します。

かつのパワーから電気を購入するだけで、電力資金が域内に循環し、地域の活性化に貢献することができます。

・双方向的な電力使用の形態を体感

かつのパワーの顧客にはTEMSという30分ごとの電力使用量をほぼリアルタイムで確認することができるサービスを提供します。

また、節電要請に応じて電気料金を割引するDR割引メニューを実施します。節電することのメリットだけでなく、電力小売会社の運営に貢献できる、双方向的な電力使用の形態を体感できます。

地域密着型で、小規模な運営形態だからこそ実現可能なサービスです。

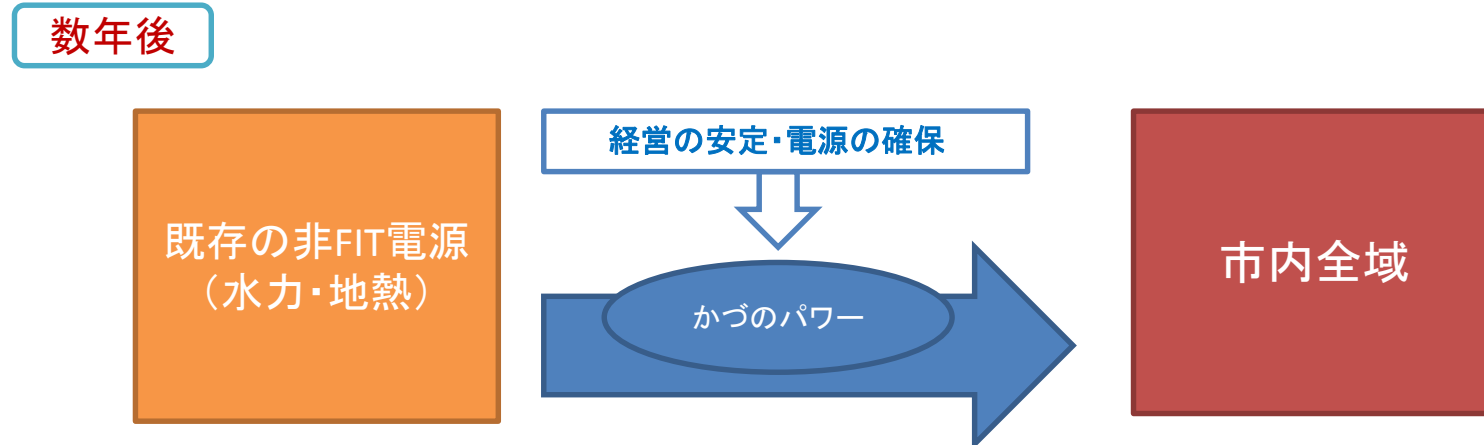
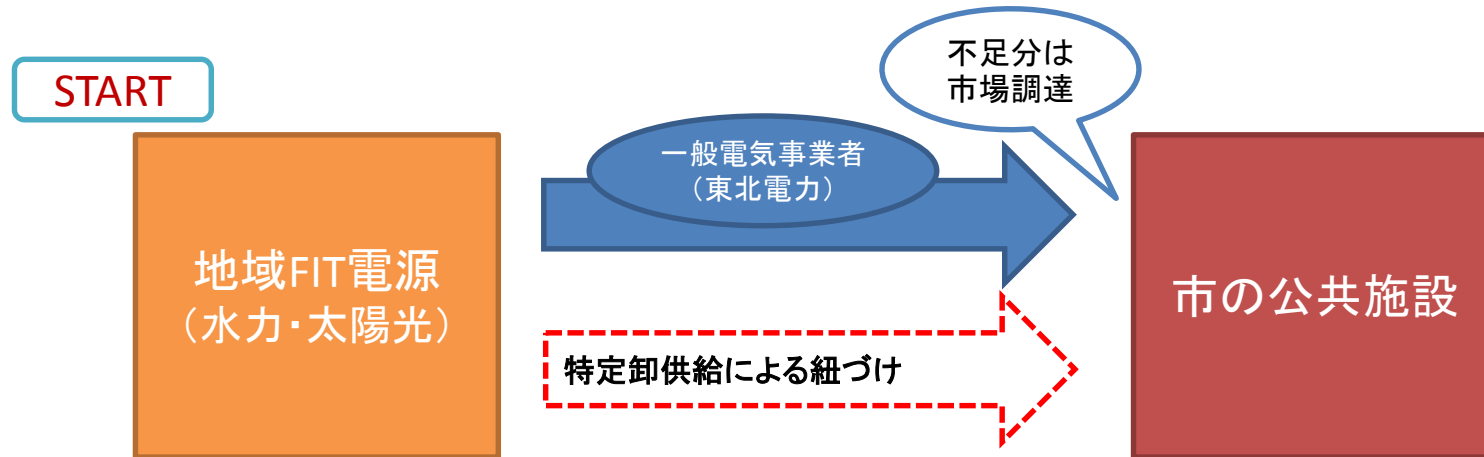
・安価な電力供給が受けられる

電気小売業は固定費が高く、薄利多売で利益が上がる業種です。電気料金の削減は本来大規模な電気小売事業者しか実現できません。

しかし、将来的に鹿角市内にある安定した再エネ電源を安価に獲得できれば、仕入額の低減だけでなく、市場の価格変動リスク低減による経営の安定化により、電気料金を下げることができる可能性があります。また、自家消費型太陽光ESCO事業では、直接安価な再エネ電力を提供するサービスを行うことも検討しています。

利益の還元方法はさまざま検討していますが、将来的に競争力のある価格での電力供給を目指します。

モデルの段階的发展



かづのパワー 段階的发展計画

	想定規模	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025～
供給先(需要家)	市の一部施設(33施設)	2,384kW						
	市の一部施設(低圧26施設)	+ 763kW						
	市の所有施設(全て)	+ 2,839kW						
	公共施設・一部民間施設(県4施設、民間10施設程度)	+ 2,014kW						
	市内全域へ							
合 計			2,384kw	2,861kw	3,147kw	5,986kw	8,000kw	15,000kw～
電源	地域FIT(太陽光・水力)	1,505kW						
	県営水力							
かづのパワー人員			1人	1人	1人	2人	2人	2～4人

かづのパワー設立、供給準備

2020年度から市所有施設(一部)への供給を開始します。
 初年度は2,384kwで開始、電源は地域FIT電源とします。
 収支を見極めながら規模を拡大し、2023年度に市内県営水力の1カ所を獲得して、全ての市所有施設と一部民間施設への供給を開始、2024年度に8,000kwの供給を目指します。
 2025年度以降は市内の県営水力9700kwの獲得とともに市内全域への供給を目指します。

かづのパワーが目指すこと

地域のみなさまに貢献できる会社となること

- ・健全な経営を行い、利益を地域に還元していくことを確実に行っていきます。
- ・エネルギーの地産地消の意義をみなさまにお伝えしていきます。
- ・再生可能エネルギーのすばらしさ、エネルギーが豊富な鹿角市のすばらしさをPRしていきます。

早く、地域のみなさまに電力供給すること

- ・地域にある非FIT電源を獲得し、地域のみなさまへの電力供給を目指します。
- ・電源所有者にかづのパワーの取り組みに共感してもらい、かづのパワーに電気を売ってもらえるよう、実績と信頼を積み重ねます。